

講演 **なぜ脱原発が必要か考える**

～元原発プラント技術者の提言～

2013年10月6日(日)13:30分～16:30分 川崎・エポックなかはら

エネルギー資源に乏しいわが国は、「安価でクリーンなエネルギー」として原子力発電を官民一体で推進して来ました。私達は核燃料サイクルが破綻している事、地震大国で50基以上の原発が過疎地域に多額の国家資金をばらまいて建設・運転されている事、原子力村で安全神話が作られている事を知らされていなかった。また、知ろうともしなかった。

2011年3月11日、福島第一原子力発電所事故は、事実として原発の安全神話を打ち崩した。2年以上経過した今もなお自宅に帰れない被災者は、いらだち、悔しさ、図り知れない心の痛みを負わされている。原発事故は被災者ばかりでなく、多くの人々、更にこれから生まれてくる子孫に負の財産を負わせてしまった。

福島第一原発の汚染水問題は日増しに深刻さを増しているが、政府は世論を無視して“安全が確認された原発は再稼動する”と3.11以前の状態に戻そうと躍起になっている。

なぜこのようになってしまったのか。私達は自らに問うてみよう。

そのような中で、今年4月、脱原発へ向け政策提言する目的で「原子力市民委員会」が市民、科学者、技術者、弁護士らが集まり設立された※。これから半年以上かけて「脱原子力政策大綱」をまとめ、その成果を広く世間に公表すると共に、関係機関（原子力規制委員会、原子力委員会、総合資源エネルギー調査会、復興庁等）に提言します。

※原子力市民委員会は、すべての政府機関から独立の、民間有志による委員会です。

技術者で、「原子力市民委員会」メンバーの後藤政志さんに講演していただき、私たちは、なぜ脱原発社会を必要とするのか、それを実現するためにどのような姿勢で何をすべきかを一緒に考えて行きたいと企画しました。ふるってご参加ください。

皆さんからご意見、ご質問、ご感想をいただき、この講演会が行動の一步となればと願っています。

日時 2013年10月6日(日) 13時30分～16時30分 (開場13時)

場所 川崎市総合福祉センター エポックなかはら 大会議室(7階)
JR南武線「武蔵中原駅」改札を出て右側へ徒歩1分。

講師 **後藤 政志**さん (NPO法人 APAST 理事長。元原子力プラント設計技術者)

資料代 500円 (学生 無料)

企画、主催「後藤政志さん講演実行委員会」

問合せ 神野玲子 TEL 090-2669-0413 e-mail: jreikochan@yahoo.co.jp

伊藤英雄 TEL 090-6012-1907 e-mail: togarinkh0322@f07.itscom.net

※講演会は予約制ではありませんが、来場される人数を把握したいので「参加予定」の連絡を戴ければ幸いです。

伊藤へお電話かメール下さい。